

会議の名称	第5回タウンミーティング
開催日時	平成26年5月31日（土）午後2時～午後3時
開催場所	八開庁舎 集会室
出席者	市長、副市長、総務部長、企画部長 参加者 34名
テーマ	愛西市の財政、将来展望を含めた市政運営について
質疑応答	
市民A	<p>何点かご質問したいのですが、市長が一番最初に行政では限界がある、市民と行政でまちづくり、運営をしていきたいとおっしゃいましたが、まずそこで1点質問なんですけれども、行政で限界があると言いましたが、例えば市長はほかに行政以外でどのような方法があると協力する方法があると、例えば、NPOとかNGOとか市民団体、そんなことをお聞きさせていただきたいと思います。</p> <p>それと収入が減少するとおっしゃいましたが、逆に市長として収入を増やす方法とかそのようなことはお考えなのでしょうか。その2点ご質問させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>まず、1点目の地域との連携、地域主体という考え方でございます。現在でもそれぞれの地区の総代の方々を通じましてコミュニティ活動などをしていただいております。まずは、地域やコミュニティの総代を含めた地域の方々にしっかり認識をしていただき、地域活動をしていただきたいと思いますと考えております。地域課題につきましては、行政に対しましてご意見やご要望等がありますが、やはり課題等をしっかり把握していただいております皆様方にできる限り完結できるようなことをしていただきたいと思いますと考えております。しかしながら、すぐにそのように変わっていくということは、なかなか難しいと思っておりますので、皆様方にも課題を持った活動をしていただきたいと思いますと考えております。</p> <p>収入増につきましては、企業誘致につきましては、現在、県と協議を進めさせていただいております。愛西市だけではできない状況でございますので、県を巻き込んだ形で県にGOを出していただければなりません。現在連携を強めてやらさせていただいております。また、市がもっている公有財産、土地等も有効的に使っていきたいと考えております。私からは以上です。</p>
市民B	<p>巡回バスについて少しお願いしたいと思いますが、あまり自分でも利用してなくて恐縮なのですが、聞くところによると八開地区</p>

	<p>から今度市の中心が佐屋にいくんですけれども、そこへの直通とい いますか直結した形のバスがないんじゃないかということと、私が 住んでいる高畑町は今までは郷中をバスが通っていて、ときどき利 用させていただく時に、待っていてもそう危険ではなかったのです が、今、郵便局前の県道のところに移っちゃったもんですから、利 用される年配の方なんか非常に交通安全上危ないんじゃないか と思うんですけど、そのへんのところをちょっとお聞きしたいと思 います。</p>
<p>総務部長</p>	<p>今、2点ご質問をいただきました。まず、今回、市長が先ほど申 されましたように大きな見直しをさせていただきました。それはで すね、まずルートを大きく見直しをさせていただいた。利用者の少 ない、利用率の少ないところは大きくカットと言ってはご無礼な話 ですけれどもそういったところもひとつはコース、停留所も設けず に、窓口を減らしていくというような考え方でコースを設定させて いただいたというのが事実でございます。それで、市への直通の話 でございますけれども、冒頭で市長の方からも話がありまして相当 今回大きく見直しをさせていただきました。先ほど言いましたよう に今まで使っていたバス停がなくなったとか、そんなようなコース もあります。商業施設への乗り入れ、公共交通機関への乗り入れ、 アクセス、例えば名鉄日比野駅、佐屋駅へのアクセスそういったも のも今回コースの中で設定をさせていただきました。ただ、今、お っしゃった市役所への直通ということになりますと現状はですね、 例えば、この八開地区からの直通ということのコース設定というの はまだまだ難しいのかなと、そこへいくには乗り継いでいただく というようなコースの設定となっておりますので、また今後ですね、 需要といいますか、そのコースが必要だという話になれば、そうい う時期にきたら見直していきたいということも考えられるのでは ないかなと思います。ただ、4月から運行したばかりでありますの で、当面は今の現行のルートでしばらくは運行していきたいとい うのが市の考え方です。</p> <p>それからもう一点、停留所の関係ですが県道にバス停ができた と、バス停の関係についてもですね、先ほども申しましたが、利用 率の少ないバス停については省きましたと、それでバス停の位置に つきましてはバス会社、バスの運転手についてもですね現地のコース を走行させまして、特に県道ということもあるかもわかりません が、そのへんはですね十分安全確認をした中でですね、走行するよ</p>

	うにと注意を会社を通じてやっておりますし、また、現場の方にもつないでおります。県道ですので、そういったご心配もあるかと思えますけれども、またそれはきちっとそういったご意見があったということを運転手にも伝えていきたいなと思っております。安全確認を徹底せよということは伝えていきたいと思っております。
市民C	通学路について伺いたいのですが、通学路という標識があちらこちらに立っておるわけですけど、もう塗装がほとんど消えちゃっておるのを見かけるんです。横断歩道については、新しいのを作らると、きちっとついておるんですけど、何十年前につけた通学路という標識があるわけですけど、実際には通学していないところを通学路として認定している格好のものが結構あると思うんですよね。車の運転手でいくと通学路とやっていないものにおいては気持ちとして多少スピードを上げて走ることもあるかも知れませんが、通学路という新しい標識を立ててもらえばそれなりの抑制がされ、効果がでると思うんですけど、そのへんをもう一度見直しをいただいて全部となるとたいへんなことになるかも知れませんが、鵜多須地区でいきますと最近ちょっと回った時に見かけるんですけど、古いやつがほとんどなんです。その点、全地区的にはわかりませんが、その点のところを一考お願いしたいと思います。
副市長	ありがとうございました。今の件につきましては、建設課あるいは教育委員会と一度見直しをしてきちっとさせていただきたいと思えます。
企画部長	ご意見ありがとうございました。実はですね、今おっしゃられるのはこういう丸い緑の通学路という標識かと思いますが、合併当時その看板について、ご指摘のとおり古いものがあるといったなかで建て替えの要望があったことも事実でございます。その時に市の方針としまして、教育委員会の方針でございますけれども、新たに表示はやめると、なぜかというとその学校においてその年度年度でお子さんの住居地、集合場所というのが変わることがあり、そうするとご指摘のように通学路でもないところがいつまでも通学路になっているという状況の中で、代替案として、この立て看板、通学路とは書いてありませんけれども、お子さんが通る、飛び出すから気をつけろとかいったものに切り替えていこうという方針を立てまして、現在では新しく立てるといことは行っておりません。ただ、撤去するにもかなりの本数ですので、なかなかそこまで手が回っていないのも事実ではないかなというふうに思っておりますが、気づ

	<p>いたところから、また危険なところからそれはやらなきゃならないことですので、よろしくご理解をいただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
--	---